

これからの
家づくりのためのABC。

第4回 近藤建設工業

photographs by Hiroshi Takaoka
text by Keiko Tamura

夏

の暑さをどう乗り切るかは、日本の家づくりの大きな課題。密閉した家を空調でコントロールするのも、もちろんひとつの方法だけど、自然な方法で暑さをしのげたら、家計にもやさしく、室内外の温度差が緩やかな、健康で過ごしやすい家になる。夏を涼しく過ごすためにキーとなるのは、なんと「風通し」だ。

静岡県焼津市の鈴木規夫さんのお宅は、周囲を果樹畑と田んぼに囲まれ、家の前には水路があるという自然豊かな場所にある。太平洋側の温暖な地域で、年間を通じて日照がよく、冬はとも過ごしやすいが、夏はジメジメと暑い。そうした土地柄

家づくりで特に気をつけたのは風通しと日射のコントロールだ。焼津の気候を活かした家づくりを行う近藤建設工業の齊藤正司さんは、「このあたりは、南風が吹く地域です。部屋は南向きにしつつも、窓の配置を工夫し風を抜く配慮をしました」と語る。「対面する窓だけでなく、2階のどの方向の窓を開けていても、家中を風が吹き抜けます」と鈴木さん。この風は、周囲の果樹園や水路、川を通ってくる。暑い夏でも涼しい風となるので、格別の心地よさがある。まさに自然の力を利用するSOWE Design(ソーウィーデザイン)の導入に格好の立地環境なのだ。そして、もうひとつ夏の暑さ対策

涼しい風を
上手に取り込んで、
夏を快適に過ごす
家づくりの工夫。

ジメジメとした梅雨から、やってくる夏の猛暑。長い休みのある楽しい季節である半面、厳しい暑さは、やっぱりツライ。そんな夏を家づくりの工夫で乗り切る。SOWE Designの知恵と工夫を学んでみよう。

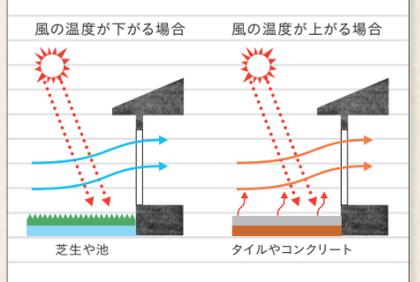


1 エントランスからデッキまで、ひと続きの屋根で覆った東側の外観。緑が美しい庭は、見た目にも涼しさをもたらす。鈴木さんご家族と、近藤建設工業の齊藤さん(左)。2 南側にはバラの咲く花壇が。量の部屋からいつも眺められる。3 デッキからの眺め。自然環境が豊かな立地にある。4 玄関ホールの吹き抜けや高窓も通風に効果大。5 長さ4m近くあるデッキは、大きな屋根に覆われているので雨の日にも利用できる。6 奥に見えるのがキッチンに面した量のスペースで、奥の窓が南向きになる。

Study 1

自然風を利用する

風を取り込む窓の周辺環境を工夫することで、より心地よい自然風を得ることができる。植栽や池を通り室内に入る風は、アスファルトの上を通過した風と比べ、風の温度が下がり快適である。



として有効なのが、深い庇だ。南に大きく窓が開いていると、夏の日中、部屋に差し込む日差しは強烈な暑さとなる。それをシンプルかつ効果的に遮ってくれるのが庇の役割だ。また、梅雨のジメジメと蒸し暑い雨の日でも、庇があれば雨も吹き込まず、窓を開けて風を通すこともできる。

鈴木さんの家で印象的なのが、屋根付きの広いウッドデッキ。リビングとひと間のような空間は、外と内の中間のスペースとして、暮らしに彩りを加えてくれる。季節に合わせて、くつろぎの場を移動。

「夢の家コンテスト2012」開催決定!

「ロハスデザイン大賞2012」のヒト部門で大賞を受賞した「重量木骨プレミアムパートナー」が、今年もコンテストを開催! 現在、「夢の家コンテスト2012」では、あなたの「夢の家」を大募集。選ばれた「夢の家」は、Webサイトや雑誌などを通じて紹介され、読者や専門家によって投票・審査が行われる。その中から見事、グランプリに選ばれたら「夢の家」を建築する際の、SE構法の構造躯体(100万円相当)をプレゼント! 詳しくは、「夢の家コンテスト」で検索!



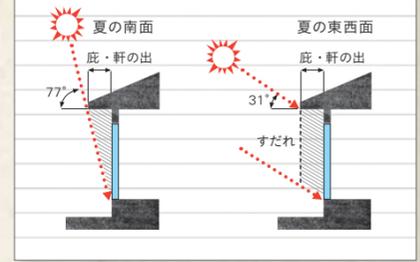
木の家プレミアムパートナーズ
重量木骨の家 夢の家コンテスト 検索

デッキに向かうリビングとひと間続きに、キッチンと和室を設け、1階はほぼワンルームの間取り。キッチンは対面式のカウンターで和室と仕切られている。「リビングとダイニングは特に決まらずに、畳の部屋とフローリングの部屋をそのときに合わせて使っています。冬は南に大きな窓がある畳スペースで過ごし、夏は暑さを逃れて東に窓のあるフローリングの部屋で過ごすことが多いですね」とまゆ

Study 2

「庇やすだれ」で、日差しを遮る

夏の太陽は、正午にはほぼ真上となる高い軌道で移動する。だから南面の日差しは庇を出すことでシャットアウトできる。問題は東西の日射。太陽は東から出て西に沈むため、東や西から差し込む太陽は、南の太陽に比べて半分以下の角度で差し込む。これが部屋に入らないようにするためには、庇だけでは難しい。日差しを遮るため、夏はすだれや緑のカーテンを積極的に利用し、上手に日差しとつき合いたい。



Q. 今月のお宅のSOWE術は?

パッシブデザインに適したレベルを、日射量などをもとに地域区分したのが、右の「パッシブ地域区分図」。今回訪れた焼津は、「ほ地域」。

- パッシブ地域区分図
- /い地域 (日射量が少なく非常に寒い地域)
 - /ろ地域 (日射量が少なく寒い地域)
 - /は地域 (日射量が多く寒い地域)
 - /に地域 (日射量が多い地域)
 - /ほ地域 (日射量が多く暖かい地域)



A. 窓の配置で、風をデザイン!

*地域区分は、より細かな5区分で掲載。(出典:「建築環境・省エネルギー機構」自立循環型住宅ホームページ)



SOWE Designで家を建てたい、SOWE Designのことをもっと詳しく知りたい方は、SOWE Designのホームページをご覧ください。
www.mokkotsu.com/sowedesign